

| | |
|--------------|---|
| 重点項目 | 豊かな心の育成 【徳】 |
| 重点課題 | 教師と生徒、生徒同士の信頼関係を構築し、共感的な人間関係を育み、安心して自分の意見を述べられる集団づくりを進める。 |
| 現 状 | <p>豊かな心の育成のために、昨年度まで挨拶の活性化を目指し、取り組んできた。生徒会や各学年での自治的な取組により挨拶は以前よりも活発に行われるようになってきたと感じられる。これにより互いの存在を認め合い、生徒相互の信頼関係は強くなってきている。</p> <p>本年度は、教師と生徒、生徒同士の信頼関係をより強くし、学級内において、安心して発言でき、それぞれの発言が認められる集団をつくっていきたいと考えた。本校生徒は真剣な態度で教師の説明や話を聞く姿勢は育っているが、授業中に意見を発表することが得意な生徒は少ない。昨年度も学年の取組において、授業中の挙手回数の増加を目指した活動を行ったが、一部の生徒に発表が偏ってしまうなど、十分な成果を得ることができなかった。そこで、本年度は生徒一人一人の意見が認められ、安心して意見を発表ができる人間関係を育み、誰に対しても温かな心で接することができる豊かな心の育成を図りたい。</p> |
| 具体目標 数値指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間の授業の中で、少なくとも1回、自分の意見を発表したり、教師の質問に答えたりしている生徒の割合が80%以上となることを目指す。 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ よさや可能性を積極的に見付ける生徒理解に努め、その都度生徒にフィードバックしていくように努める。 ・ よりよい集団づくり、よりよい学校づくりに向けての意欲の喚起・醸成と三つの行動（時を守り、場を清め、礼を正す）を呼びかけ、推進する。 ・ 定期的な班長会により自治活動による集団づくりを推進する。 ・ 学年委員会等での取り組み。（プロジェクト等の実施） ・ 各授業の中で、質問に答えたり、意見交換したりする場面を意図的に設定する。 ・ 自分の意見を伝えたり、人の意見を聞いたりすることで、多くの気づきや学びを得られるような手立てを工夫する。 ・ 学校の具体的取組をたよりやホームページ等を活用し、公開するとともに保護者との連携を図り、集団づくりを推進していく。 |
| 外部評価者 | 学校評議員、保護者 |
| 公開の方法 | 学校評議員会、学校だより、ホームページ等 |